

第2回「三陸沿岸道路の工事現場を見に行こう！」

東北最大級の(仮称)気仙沼湾横断橋の 下部工(橋脚)工事現場を唐桑地域の皆さまが見学します！

気仙沼市唐桑地域の方々を対象に、普段なかなか見ることのできない工事現場を見学して頂き、復興道路の進み具合を肌で感じてもらいます。

平成28年度は全4回を予定しており、7月に開催の第1回((仮称)県境トンネル)に引き続き、第2回は、気仙沼道路(気仙沼市松崎高谷～気仙沼市唐桑町只越 延長9km)に建設される(仮称)気仙沼湾横断橋(橋長1,344m)で開催します。

(仮称)気仙沼湾横断橋は気仙沼市の復興のシンボルとして待ち望まれ、観光や産業振興の発展等が期待されています。

記

1. 日 時 : 平成28年 9月17日(土) 10:00～(約2時間程度)
2. 集合場所 : 気仙沼海の市/シャークミュージアム「駐車場」・・・別紙-1
3. 見学場所 : (仮称)気仙沼湾横断橋 橋長 約1,344m・・・別紙-2
4. 概 要 : 橋梁下部工工事の概要説明、橋梁下部工工事(橋脚)の見学 など
5. 参加者 : 気仙沼市唐桑地域の方々 約26名(唐桑・中井・小原木公民館の方々)
6. その他 :
 - ・取材される際は、集合場所にお越しください。
 - ・天候状況により中止となる場合がございます。
 - ・第3回以降の開催予定は、以下のとおりとなります。

第3回 平成28年11月 第4回 平成29年 2月



【発表記者會：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先

《現場見学会について》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 気仙沼分室
電話 0226-24-3212 担当建設監督官 阿部 進一

《事業について》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
電話 022-248-4131(代)

副 所 長 おりかさ とおる 折笠 徹 (内線205)

設 計 課 長 ししど ひでお 穴戸 英雄 (内線461)

【三陸沿岸道路HP】 <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkou/index.html>

【集合場所】

気仙沼海の家／シャークミュージアム 「駐車場」
住所：宮城県気仙沼市魚市場前7-13

【位置図】

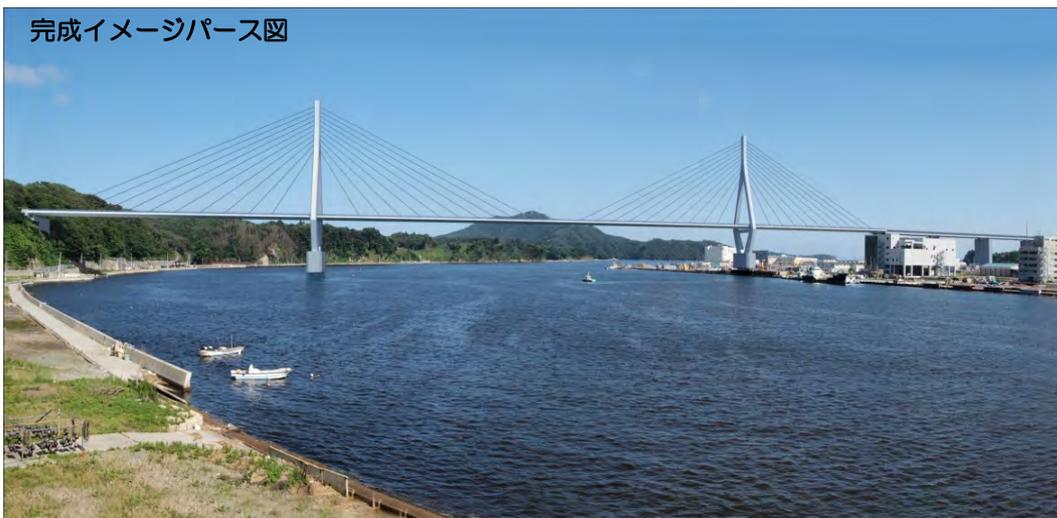


【見学場所】

○ (仮称) 気仙沼湾横断橋 延長 約1,344m
(陸上部 664.0m、海上部 (斜張橋部) 680.0m)



完成イメージパース図



橋梁工事 施工状況 (平成28年9月撮影)



(仮称) 気仙沼湾横断橋の概要

◆ 橋梁形式

- 海上部：① 3 径間連続鋼斜張橋
- 陸上部：② 鋼 7 径間連続箱桁橋 + 鋼 3 径間連続箱桁橋
- 橋長：1,344m
(①680m+②664m)

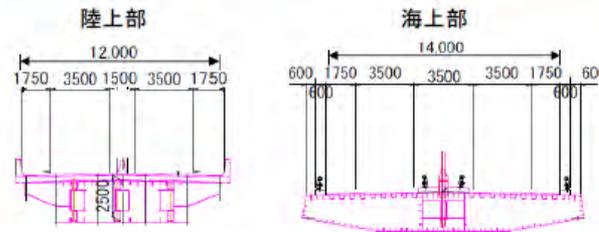
◆ 桁下クリアランス → 32m

- 既往最大通過船舶のマスト高に余裕高 2m以上を加えた高さ
 - ・既往最大船舶
(貨物船 マスト高 29.287m)
 - ・想定津波高
(レベル2津波痕跡高、TP+ 10m)

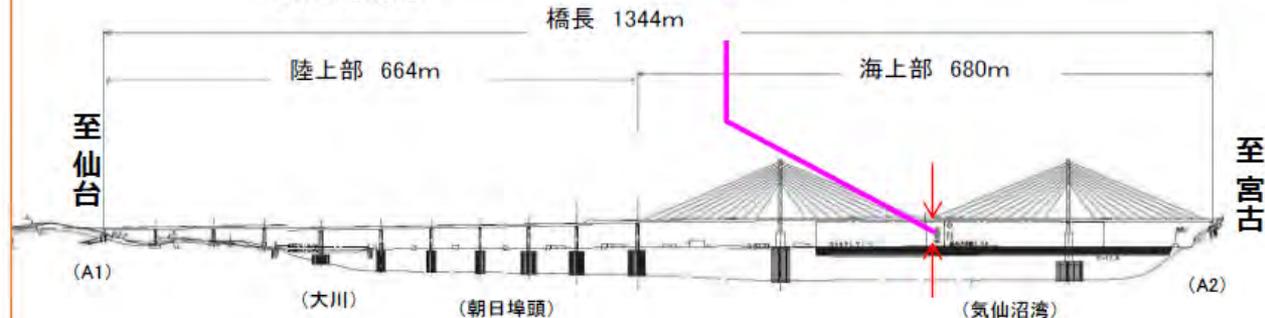
◆ 橋脚天端 → TP+ 15m

- 天端は津波時水位より上
(鋼製主塔を海水にさらさない)
- 津波時漂流船舶の船首が主塔に衝突しない高さ
- 平常時に既往最大船舶の船首が主塔に衝突しない高さ

▼ (仮称) 気仙沼湾横断橋の全体イメージ



▲ 標準断面図



【海面から橋桁までの高さ32m】
・航路確保及び津波漂流物を回避

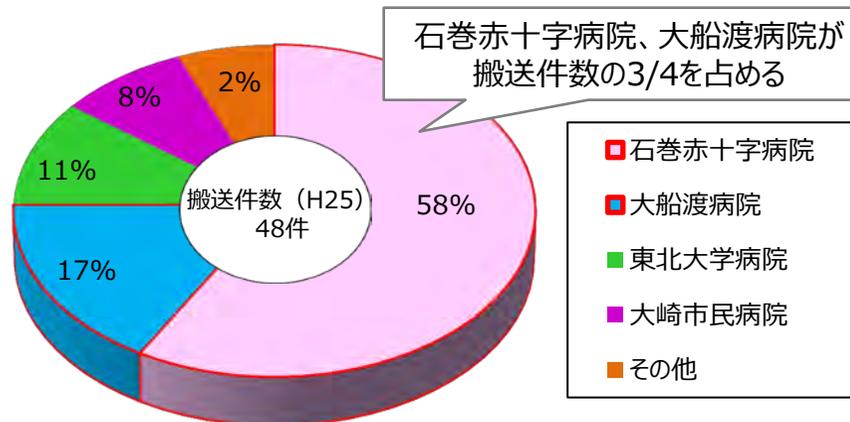
【気仙沼道路】～高次医療施設へのアクセス性向上～

- ◆ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合は、石巻赤十字病院と大船渡病院が全体の 3 / 4 を占める
- ◆ 気仙沼道路及び三陸沿岸道路の整備により、高次救急医療施設への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上に期待

▼ 気仙沼市から三次医療機関への搬送経路

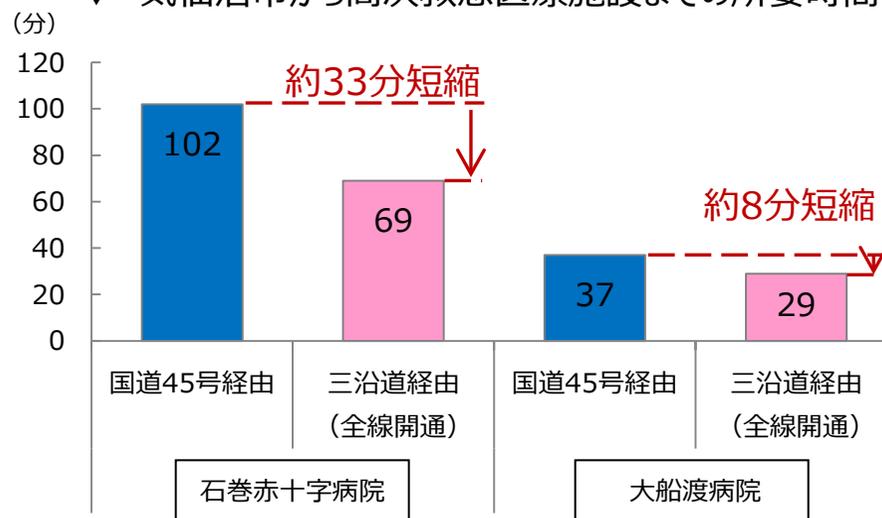


▼ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合 (H25年)



資料：気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

▼ 気仙沼市から高次救急医療施設までの所要時間



資料：H22道路交通センサス

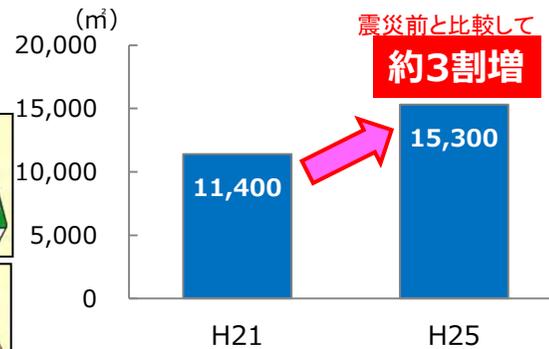
【気仙沼道路】～地域産業活性化を支援～

- ◆東日本大震災で被災した陸前高田市の長部地区では、水産加工団地を中心に水産加工業の再建が進行
- ◆気仙沼道路及び三陸沿岸道路の整備により、都市圏へのアクセス性が向上し所要時間が短縮することで、当地区の水産加工業における販路拡大や生産性向上、産業活性化等に期待

▼ 長部水産加工団地から仙台への搬送経路



▼ 長部地区の加工場面積



資料：陸前高田市水産課提供データ

▼ 長部地区から仙台の所要時間



資料：H22道路交通センサス

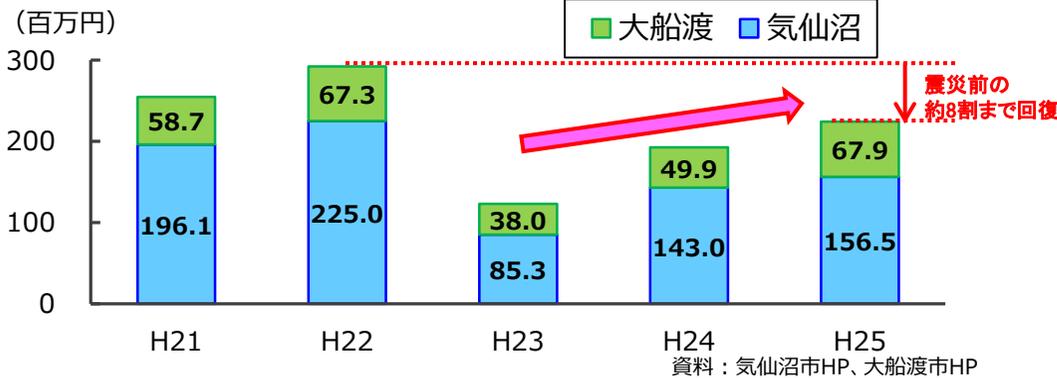
▼ 長部水産加工団地の位置



【気仙沼道路】～地域産業の復興加速を支援～

- ◆東日本大震災の被災により、気仙沼港及び大船渡港の水揚げ高は大幅に減少したが、現在まで回復傾向
- ◆両港のサンマの水揚量は本州において1位・2位に位置しており、築地市場における取扱量は岩手県・宮城県で約4割のシェア
- ◆気仙沼道路を含めた三陸沿岸道路の整備により、輸送時間短縮による商品価値向上や出荷体制の強化など、水産業における復興の加速支援に期待

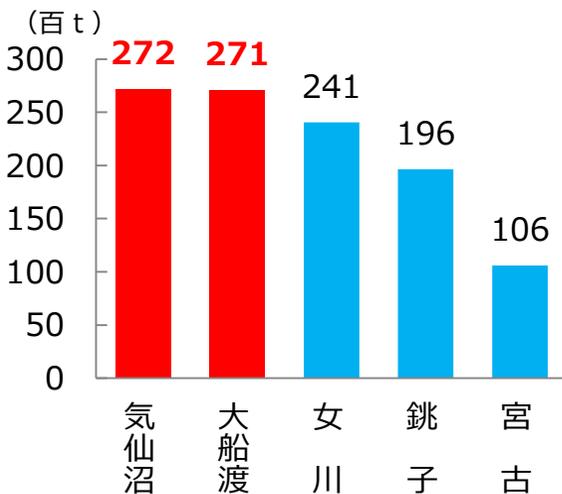
▼気仙沼・大船渡魚市場における水揚げ高の推移



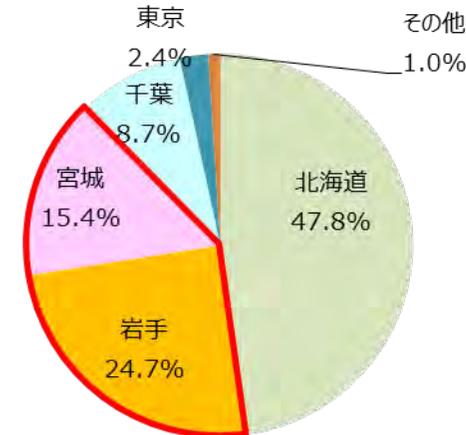
▼気仙沼港・大船渡港から関東市場への出荷経路



▼漁港別サンマの水揚げ量(H26・本州)



▼築地市場におけるサンマの取扱実績 (H26)



【気仙沼道路】～広域的な観光周遊ルートの形成による観光振興～

- ◆三陸沿岸地域は、復興国立公園に指定されるなど、魅力的な観光資源が点在
- ◆高規格道路ネットワークによる広域観光周遊ルートが形成され、観光振興に期待

▼宮城県・岩手県における高規格道路ネットワーク



三陸復興国立公園



▲浄土ヶ浜 (宮古市)



▲碁石海岸 (大船渡市)



▲折石・唐桑半島 (気仙沼市)



▲御箱崎・箱崎半島 (釜石市)

南三陸金華山国定公園



▲神割崎 (南三陸町)



▲金華山 (石巻市)

三陸道の工事現場を見に行こう! 「第1回」の開催状況

見学会概要

日時：平成28年7月23日(土) 10:00~12:00

場所：県境トンネル坑内(仮称)、青野沢川橋下部工(仮称)

参加者：唐桑地域の皆さま28名(大人18名、子供5名、唐桑公民館職員5名)

●三陸沿岸道路「気仙沼道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして、一日も早い開通を目指し事業を進めており、震災からの復興及び迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に貢献するものと期待されています。

●この度、唐桑地域の皆さまを対象として県境トンネル(仮称)、青野沢川橋下部工(仮称)の現場見学会を開催しました。

●道路が出来るまでの作業を見学することで子供には土木工事の魅力を、保護者には工事内容や進捗状況、工事への理解を深めてもらうとともに、高速交通網の必要性を感じて頂くことを目的としています。

●トンネル坑内や橋梁下部工の施工現場において施工状況を見学するとともに、発破音圧体験や建設機械の試乗などを体験して頂きました。

見学の内容

- ①工事概要等の説明(三陸沿岸道路事業概要・整備効果等、トンネルの施工方法など)
- ②トンネル坑内の見学
- ③発破音圧体験(トンネル坑口部にて)
- ④青野沢川橋下部工の見学(P2橋脚足場通行(安全上3階まで)など)
- ⑤建設機械の試乗体験(高所作業車、バックホウなど)
- ⑥岩石強度試験(シュミットハンマー)
- ⑦記念撮影(トンネル坑内、県境、坑口)

見学の様子



▲工事概要の説明



▲建設機械と写真撮影



▲【記念撮影】トンネル坑口



▲青野沢川橋の下部工を見学



▲岩石強度試験(シュミットハンマー)



▲高所作業車への試乗体験

参加者のご感想

「初めて三陸道の工事現場に入った。宮城県と岩手県が近くなり行き来がしやすく交流ができればいい。」

「普段乗れない建設機械に試乗でき、遠くまで見渡せて気持ちよかった。」

「発破の振動(地響き)が凄かった。」

「ソクリトより岩が硬いと思わなかった。(岩石強度試験を実施後の感想)」

「1日どのくらい掘削しているのか?」など